

MT3 / MT3 pro

Nr. 1808 / 1809

Bedienungsanleitung
Instruction manual • Mode d'emploi
Istruzioni d'uso • Instrucciones para el servicio
Инструкция по эксплуатации
取扱説明書 • 사용 설명서 • 说明书



Seriennummer, Herstelldatum und Geräte-Version befinden sich auf dem Geräte-Typenschild.
Serial number and date of manufacturing are shown on the type plate of the unit.
Le numéro de série et la date de fabrication se trouvent sur la plaque signalétique de l'appareil.
Il numero di serie e la data costruzione si trovano sulla targhetta dell'apparecchio.
El número de serie y la fecha de fabricación están indicados en la placa identificadora del aparato.
Номер серии и дата изготовления указаны на фирменной табличке прибора.
产品编号和生产日期被标于本机的铭牌上。
シリアル番号、製造日および装置のバージョンは装置の型番号ラベルに記載されています。
시리얼넘버, 제조일자 및 기기 버전은 기기의 명판에 표시되어 있습니다.

MT3 / MT3 プロ

1808 / 1809

JAPANESE

記号一覧.....	2
取扱説明書	
1. 装置の各部の名称.....	2
1.1 MT3.....	2
1.2 MT3 pro.....	3
2. 試運転.....	3
2.1 設置.....	3
2.2 水道との接続.....	3
2.2.1 給水.....	3
2.2.2 排水.....	3
2.3 電気の接続.....	4
2.4 電源スイッチの切替.....	4
3. 運転.....	4
3.1 研削台の角度調整.....	4
3.1.1 MT3.....	4
3.1.2 MT3 pro.....	4
3.2 水量の調節.....	4
3.3 研削.....	4
3.4 トリマー・ディスク（砥石）の交換.....	5
3.5 負荷監視.....	5
3.6 運転ブレーキ機構.....	5
4. 清掃とメンテナンス.....	5
4.1 外枠を清掃して下さい.....	5
4.2 内部空間の清掃.....	6
4.3 研削台の清掃.....	6
4.4 リンス管の清掃.....	6
4.5 給水口ろ過器の清掃.....	6
4.6 フランジの交換.....	6
5. 予備部品.....	6
6. 標準装備.....	7
7. 付属品.....	7
8. トラブルシューティング.....	7
購入者向けご利用の手引き	
A. 適用範囲.....	9
A.1 使用分野.....	9
A.2 不適切な使用.....	9
A.3 環境条件.....	9
B. 安全対策.....	9
C. 運転認可者.....	10
D. 設置準備.....	10
E. 修理.....	10
F. 廃棄方法.....	10
F.1 EU諸国における廃棄基準.....	10
G. テクニカル・データ.....	10
MT3.....	10
MT3 pro.....	10
H. 免責.....	11
I. 保証.....	11



本機をご使用になる前に、以下の使用説明書をよく読んで、故障することなく、末永く使っていただけるように、安全上の注意を必ずお守り下さい。



本装置の運転者には、ご利用の手引きに従って、本装置の用途、運転時に起こりうる危険性ならびに操作方法について指導してください。

このご利用の手引きは、運転者がいつでも利用できる場所に置いてください。

詳細については、この説明書の終わりに記載されている「購入者向けの手引き」の項を参照してください。

記号一覧

この説明書および本装置に記されている記号の意味は、以下の通りです：



危険！
けがをする危険性が高い。



高電圧！
高電圧につき危険。



注意：
指示に従わなければ、本装置に損傷を与える危険性がある。



注記
使用効率の向上や使用しやすくするための通則。



注意！
防護眼鏡をかけてください。

IPX2 本装置を15°傾けても、水が漏れないように設計されています。



本装置は、関連するEU指令に適合しています。



EU内では、本装置は、指令 2002/96/EG (WEEE 指令) の規定に従うことを条件としています。

他の記号については、その都度、説明します。

取扱説明書

1. 装置の各部の名称

1.1 MT3

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 ホースクランプ | 13 排水用接続口 |
| 2 電源スイッチ | 14 給水口 |
| 5 研削台 | 15 カバー |
| 6 開戸錠 (4) | 16 止めビス |
| 7 電源プラグ | 17 固定ピン |
| 8 排水ホース | 18 リンス管 |
| 9 給水ホース | 21 ブラケット |
| 11 ネジ付き引き抜きハンドル | 22 アレンレンチ, SW4 |
| 12 給水用接続口 | 23 フランジ |

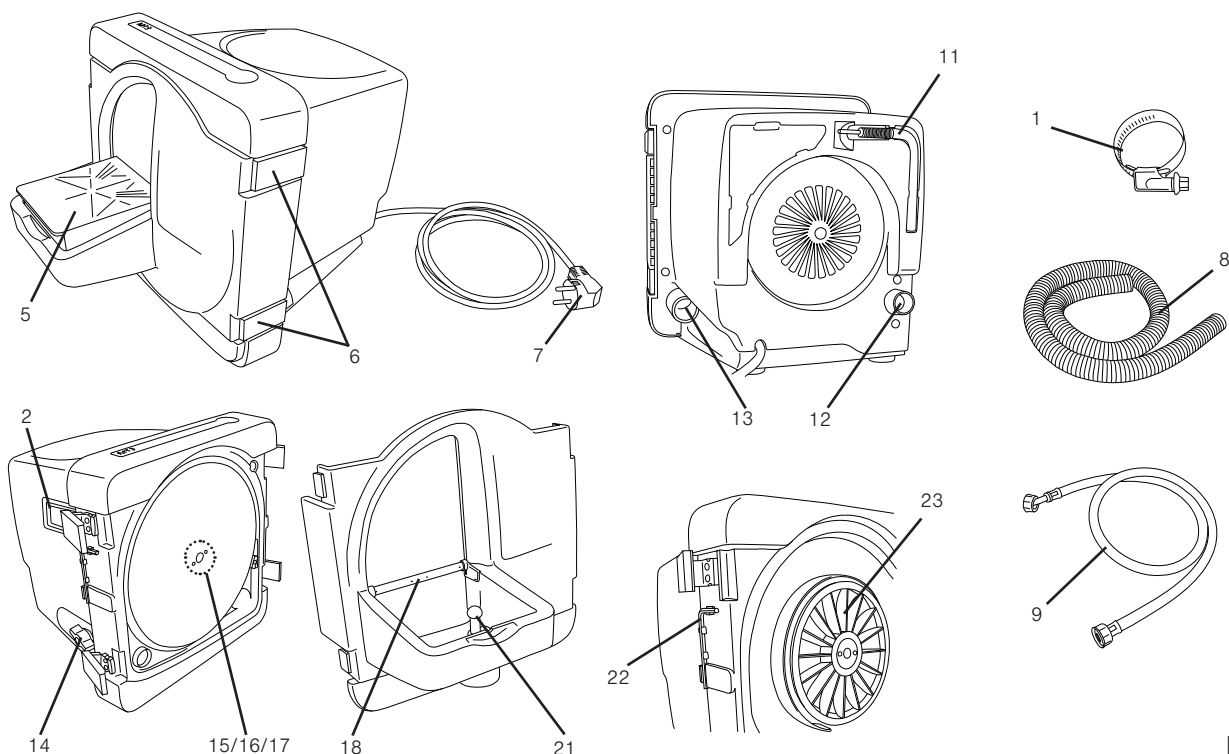


図. 1

1.2 MT3 pro

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 ホースクランプ | 12 給水用接続口 |
| 2 電源ボタン | 13 排水用接続口 |
| 3 運転動作表示器 | 14 給水口 |
| 4 エラー表示器 | 15 カバー |
| 5 研削台 | 16 止めビス |
| 6 開口錠 (4x) | 17 固定ピン |
| 7 電源プラグ | 18 リンス管 |
| 8 排水ホース | 19 調節ネジ |
| 9 給水ホース | 20 刻み付きナット |
| 10 アングル・ブラケット | 22 アレンレンチ, SW4 |
| 11 ネジ付き引き抜きハンドル | 23 フランジ |

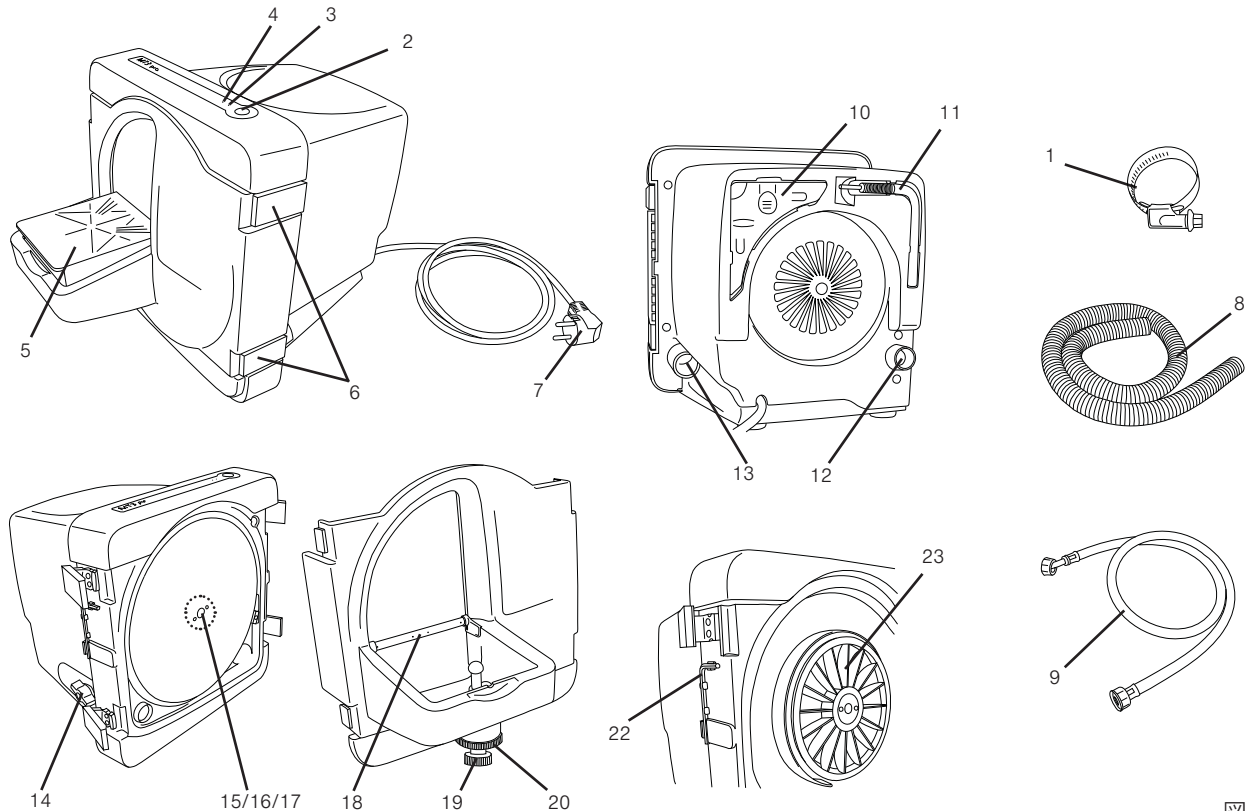


図. 2

2. 試運転

2.1 設置

- 本装置を頑丈で平滑な作業台に置いてください。
- 本装置を水道と排水口の近くに置いて下さい。
- 本装置を電源コンセントに届く場所に置いて下さい。

2.2 水道との接続

2.2.1 給水

- 給水ホース (9) を給水用接続口 (12) につないでください。
- 給水ホースを水道の蛇口 (止水栓付き) に接続してください。
- 蛇口を開けて、ホースから水が漏れていないことを確かめてください。

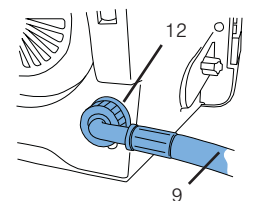


図. 3

2.2.2 排水

- 排水ホース (8) を接続口 (13) にはめてから、ねじのように回転させてください。
- ホースクランプで固定してください。
- 排水ホースを排水口に向けて垂らしてください。

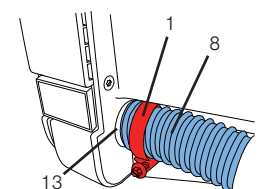


図. 4

2.3 電気の接続

- 必ず、本装置の銘板に記されている電源コンセントと電圧を確かめて下さい。
- 電源コンセントに電源プラグを差し込んでください。

2.4 電源スイッチの切替

MT3:

“On/Off”スイッチ (2, 図1) で、本装置の電源を入れたり、切ったりしてください。

MT3 pro:



タッチパネル・スクリーンが何らかの原因で損傷または不具合を生じる場合、本機の運転を中止して、修理に出して下さい。

“On/Off”スイッチ (2, 図1) で、本装置の電源を入れたり、切ったりしてください。

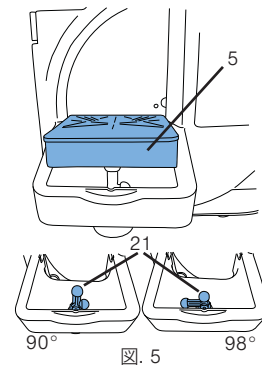
本装置が作動している間、青色のLED (3, 図2) が発光しています。

3. 運転

3.1 研削台の角度調整

3.1.1 MT3

- 本装置の電源を切った後、トリマー・ディスク（砥石）が完全に停止するまで待って下さい。
- 研削台 (5) の最先端部をボールヘッドの上方に引っ張り上げて下さい。
- ブラケット (21) を望ましい位置に向きを変えてください。
 - 長い軸スタブ：90°
 - 短い軸スタブ：98°
- 研削台を押さえながらボールヘッド上に戻して下さい。

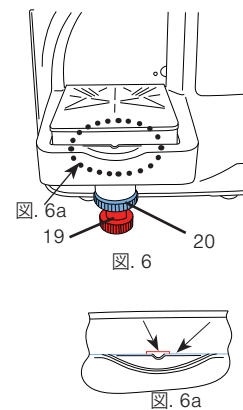


3.1.2 MT3 pro

- 本装置の電源を切った後、トリマー・ディスク（砥石）が完全に停止するまで待って下さい。
- 刻み付きナット (20) を緩めてください。

- 研削台の角度を調節ネジ (19) で調節してください。
- 刻み付きナット (20) を締め直してください。

研削台に付いている印を研削台ホルダーの上端と位置合わせする場合、大体、90°の位置に調節します（図6a）。

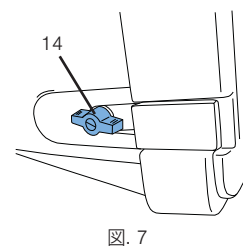


微調節は、アングル・ブラケット (10, 図2) で行います。

このアングル・ブラケットは、本装置の後部に収納することができます。

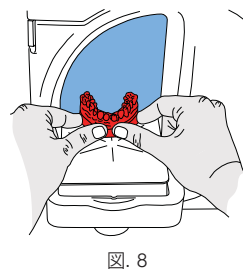
3.2 水量の調節

- 水道の止水栓を開いてください。
- 本装置の電源を入れてください。
- 給水口 (14) の水量を調節してください。



3.3 研削

- 必要に応じて、研削角度を点検および調節してください。
- 本装置の電源を入れてください。
- 必要ならば、水量を再調節してください。
- 両手で模型を研削台上にしっかりと固定して、研削ディスク（砥石）に押しつけてください。
- 作業が終われば、本装置の電源スイッチを切ってください。



長期間、作業を行わない場合や本装置の周囲に誰もいなくなる場合（例えば、深夜など）、水道の止水栓を閉じなければなりません。

3.4 トリマー・ディスク（砥石）の交換

- 本装置の電源を切ってください。
- 電源コンセントから電源プラグを外してください。
- 開戸錠を開いてください（図9）。
- 扉を外して、脇に置いてください。
- そのホルダーからアレンレンチ（22）を外してください。
- カバー（15）を外してください。
- 必要ならば、Klettfixトリマー・ディスクを外してください。
- 止めビス（16）を緩めて、ディスクを外してください。
- 必要に応じて、フランジを清掃してください。
- 新しいディスクを固定ピン（17）にはめてください。
- アレンレンチを用いて、止めビスを締め直してください。
- その上からカバーを戻してください。
- アレンレンチをそのホルダーに戻してください。
- 扉を所定の位置に戻して、開戸錠を閉じてください。
- 電源コンセントに電源プラグを差し込んでください。

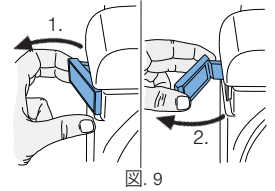


図. 9

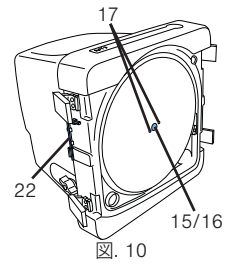


図. 10

! ディスクのぶれ（浮き沈み）を防ぐために、本装置を数分間運転させた後、止めビス（16）を締め直してください。

3.5 負荷監視

MT3 プロのみ

制御電子回路は、トリマーのモーターにかかる負荷を監視します。トリマーのモーターに、許容外のモーター温度やモーター温度ヒューズを切断しかねないほどの負荷がかかれば、警告を与えます：

- 研削時
 - 赤色のLEDが点灯：
過剰負荷が原因で、トリマーのモーター温度が高温になる恐れがあります。
→ 直ちに、模型を研削ディスクに強く押さえ付けないようにしてください。
- 研削ディスクが完全に停止して、自動的に電源が切れるまで、トリマーに負荷がかかります：
 - 赤色のLEDが点滅：
負荷限界を超えていますので、トリマーを冷やしてください。
→ 電源ボタンを押して、本装置の電源を切ってください。
- トリマーの電源が入らず、トリマーの電源を入れてから約5秒間、赤色のLEDが点滅します：
 - 1 Hzの周期（1回/秒）で赤色のLEDが点滅：
トリマーの温度は、まだ、高すぎます。
→ トリマーをそのまま放置して、赤色のLEDが点滅しなくなるまで冷やしてください。
 - 4 Hzの周期（4回/秒）で赤色のLEDが点滅：
モーターの温度保護スイッチが断線しています。
→ 電源スイッチでトリマーの電源を切って、さらに冷やしてください。



研削ディスクが完全に停止して、制御電子回路によって本装置の電源が切れてしまったならば、一旦、電源ボタンを押して本装置の電源を切ってから、もう一度、本装置の電源を入れねばなりません。

3.6 運転ブレーキ機構

MT3プロのみ

電子運転ブレーキ機構は、本装置の電源を切ってから、約5秒以内にトリマー・ディスクを停止させます。

減速中、青色のLED（3、図2）が点滅します。

運転ブレーキ機構は、扉が閉まっている状態でのみ機能します。従って、トリマー・ディスクが完全に停止してから扉を開けてください。

4. 清掃とメンテナンス

本機の機能を十分に発揮させるには、本トリマーを定期的に清掃（少なくとも1週間に一回）および点検して下さい。



本機の運転を中止して、直ちに修理に出して下さい。



本機には、保守に必要な部品は含まれておりませんので、本機を開けないで下さい！



清掃または修理する前に、本装置の電源プラグを抜いてください。



本機には、保守に必要な部品は含まれておりませんので、本機を開けないで下さい！
軟らかいブラシまたは清掃布のみを使ってください！

4.1 外枠を清掃して下さい。



外枠をスチーム洗浄しないで下さい。
湿った布で拭くだけでして下さい。

4.2 内部空間の清掃

- 本装置の電源を切ってから、トリマー・ディスクが完全に停止するまで待ってください。
- 開戸錠を開いてから（図9）、扉を外して、傍らに置いてください。
- 扉をブラシや布を用いて、流水下で清掃してください。
- 内部をブラシや布で清掃してください。

4.3 研削台の清掃

- 本装置の電源を切ってから、トリマー・ディスクが完全に停止するまで待ってください。
- 研削台（5）の最先端部をボールヘッドの上方に引っ張り上げてください。
- ブラシを使って、研削台を流水下で清掃してください。

4.4 リンス管の清掃

- 本装置の電源を切ってから、トリマー・ディスクが完全に停止するまで待ってください。
- 水道の止水栓を閉めてください。

- 研削台（5）の最先端部をボールヘッドの上方に引っ張り上げてください。
- 開戸錠を開いてから（図9）、扉を外して、傍らに置いてください。
- 曲がった部分を持って、リンス管（18）を後方に回転させながら、取り出してください（図11）。
- リンス管を石こう溶解液に、一晩中、浸してください。
- 左右の留め金にリンス管を押しはめて、元に戻してください（図12）。

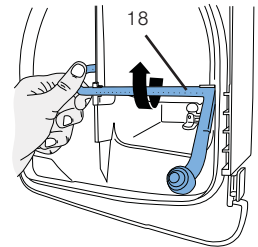


図. 11

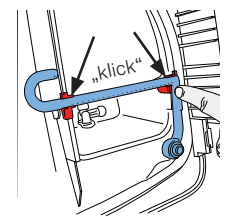


図. 12

4.5 給水口ろ過器の清掃

- 電源プラグを抜いてください。
- 水道の止水栓を閉じてください。
- 給水ホース（9, 図3）を給水用接続口（12, 図3）から外してください。
- プライヤーでろ過器を外して、清掃してください。
- ろ過器を元に戻してください。

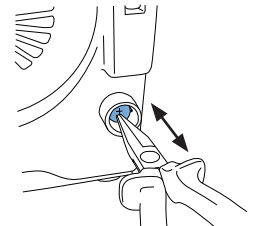


図. 13

4.6 フランジの交換

- 本装置の電源を切ってから、トリマー・ディスク（砥石）が完全に停止するまで待って下さい。
- 電源プラグを抜いてください。
- 開戸錠を開いてから（図9）、扉を外して傍らに置いてください。
- ディスクを外してください（3.4の項を参照）。
- ネジ付き引き抜きハンドル（11）をフランジにはめて、フランジ（23）が外れるまで回してください。

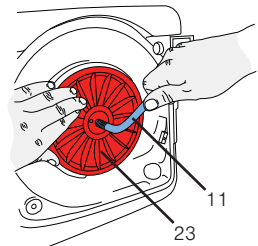


図. 14

! フランジを手で外さないでください。必ず、ネジ付き引き抜きハンドルを使って、フランジを外してください。

- フランジを外してください。
- ネジ付き引き抜きハンドルを回して外してください。
- 必要ならば、フランジ背後の空間を清掃してください。
- 必要ならば、ハブを清掃してください。
- 新しいフランジ交換してください。>>> 噛み合い溝に注意してください
- フランジを手でシャフトにはめてください。
- 研削ディスクを取り付けてください（3.4の項を参照）。
- 扉を元に戻して、開戸錠を閉じてください。
- 電源コンセントに電源プラグを差し込んでください。

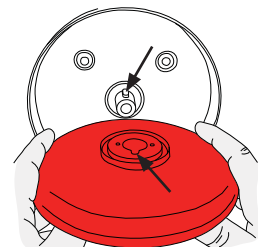


図. 15

5. 予備部品

消耗部品や交換部品の注文番号については、この説明書の末尾に掲載されている予備部品リストを参照して下さい。シリアル番号や製造年月日は、本装置の型式プレートに記載されています。

6. 標準装備


- 1 石こうトリマー(MT3 / MT3 プロ)
- 1 給水ホース
- 1 排水ホース

- 1 アレンレンチ, SW4
- 1 ネジ付き引き抜きハンドル
- 1 アンクル・ブラケット、No. 1809-xxxxのみ。
- 1 マラソン・トリマー・ディスク、No. 1808-x500 および 1809-x500のみ。

7. 付属品

- 2011-0000 GO-2011, 石こう溶解剤
- 1803-3001 1 インフィニティ・トリマー・ディスク、ダイヤモンドコーティング
- 1803-2001 1 マラソン・トリマー・ディスク、一部ダイヤモンドコーティング
- 1803-1001 ベーシックキット：5 Klettfix 炭化ケイ素トリマー・ディスク
(3 x 80 粒度, 2 x 120 粒度) + サポート・ディスク
- 1803-1100 補充キット：5 Klettfix 炭化ケイ素トリマー・ディスク、80 粒度
- 1803-1200 補充キット：5 Klettfix 炭化ケイ素トリマー・ディスク、120粒度

8. トラブルシューティング

エラー	原因	解決法
装置が始動しない。	電源に接続していない。	電源に接続されているかを確認してください。
	電源ヒューズの欠陥	電源ヒューズを点検してください。
	が正しく閉まっていない。	前扉を閉じてください (6, 図 1 および 2)。
	モーターがオーバーヒートしている。	モーターを約60分冷やしてから、再度、電源スイッチを押してください。 その間に、温度保護装置の反応が沈静化してきているかどうかを確認してください。
	MT3 pro: 温度障害	電源スイッチを入れた後、赤色のLEDが点滅するまで待ってください (約5秒)。 原因/解決法については、表の終わりに記されている点滅 記号を参照してください。
MT3 プロ：On/Offボタン (2, 図2) は、強く押すことによって作動します。	タッチパネル式On/Offボタン	本機を修理に出して下さい  このキーをあまり強く押さないで下さい。タッチパネル・スクリーンがちぎれる恐れがあります。
トリマー・ディスクがぐらつく	ディスクがフランジにきっちりとはまっていない。	説明書に従って、ディスクを装着し直してください (3.4の項を参照)。 ディスクを固定ピン (17, 図10) にきっちりとはめてください。 ディスクの裏面およびフランジの遮蔽面の石こう堆積物を除去してください。
	止めビスがしっかり締まっていない。	止めビスをしっかり締めてください。
トリマー・ディスクが回っている間、騒音が激しい。	止めビスがしっかり締まっていない。	止めネジをしっかり締めるか、必要ならば、ディスクを装着し直してください (3.4の項を参照)。
研削台がぐらつく。	研削台が正しく取り付けられていない。	研削台全体をボールヘッド上に押し下げてください。
ディスクに石こうが蓄積する	水量の調節が不適切である。	研削時の水量を増やしてください (3.2の項を参照)。
	水道の止水栓が十分に開かれていない。	水道の止水栓を十分に開いてください (3.2の項を参照)。
	リンス管が詰まっている。	リンス管を清掃または石こうを取り除いてください (4.4の項を参照)
	給水口ろ過器が詰まっている。	ろ過器をプライヤーで外して、清掃または石こうを取り除いてください (4.5の項を参照)。
	リンス管にシールが貼られていない。	リンス管にシールが貼られているかどうかを確認してください。
	リンス管が取り付けられていない。	リンス管を正しい位置に取り付けてください。

エラー	原因	解決法
	給水圧が低すぎる。	給水管の直径が小さすぎる、または、細い管に接続している使用者が多すぎて、水圧が低下している>>>水圧が少なくとも1パールあるかどうかを確かめて下さい（配管工に問い合わせして下さい）。必要ならば、ラボ内での水道工事（電気ポンプと圧力タンク）により、水圧を人為的に上げることができます（電気ポンプおよび圧力タンク）。
研削開口部から水が飛び散る。	水量が多すぎる。	トリマー側で水量を減らしてください（3.2の項を参照）。
	排水が不十分。	排水管を調べるか、正しく配置してください>>>下向きに垂らす（2.2.2の項を参照）。
洗浄水が出ない。	水道と正しく接続されていない。	水道との接続を確かめてください（2.2.1の項を参照）。
	リンス管が詰まっている、または石こうのかすによって塞がれている。	リンス管を清掃または脱灰してください（4.3 ホースクランプの項を参照）
前扉とハウジングとの間から水が漏れる。	密封面に石こう粉塵や粒子などが付着している。	密封面およびシーリング・リングを清掃してください。
赤色のLEDが点灯。	装置がその限界範囲ぎりぎりで作動している。	できるだけ早急に負荷を減少させてください。トリマー・ディスクを交換してください。
赤色のLEDが1 Hzの周期（1回/秒）で点滅して、装置の電源が切れる。	電子温度制御装置が作動している。	本装置の電源が入るまで待ってください（約10分）。
赤色のLEDが1Hzの周期（1回/秒）で点滅する	電子温度制御装置が作動している。	本装置の電源を入れたままで、赤色のLEDが消灯するまで待ってください（約10分）。
赤色のLEDが、4 Hzの周期（4回/秒）で点滅する。	モーターの温度保護装置が作動している。	トリマーのスイッチを切って、約60分冷やしてください。 その間に、温度保護装置の反応が沈静化してきているかどうかを確かめてください。
赤色のLEDが2 Hzの周期（2回/秒）で、点滅する。	モーターが動かず、電源が切れる。	一旦、本装置の電源を切ってください。回復後、装置の電源を入れて、作業を再開することができます。
ここに記されていない赤色LEDの点滅信号	本装置または部品の故障	本装置を修理に出してください。

購入者向けご利用の手引き

以下の情報は、購入者が本装置をラボで安全に運転していただくことを目的としています。



本装置の運転者には、ご利用の手引きに従って、本装置の用途、運転時に起こりうる危険性ならびに操作方法について指導してください。

このご利用の手引きは、運転者がいつでも利用できる場所に置いてください。

A. 適用範囲

A.1 使用分野

この石こうトリマー、MT3/MT3pro は、注水下で石こう模型のみを削る目的で設計されています。

A.2 不適切な使用

本装置を非注水下で使用することができません。

本装置は、埋没材を削ることができません。発癌性の粉塵を放出します。

付属品は、レンフェルト社製以外の装置には使用できません。他社の部品を使用すると、深刻な損傷を引き起こす危険性があります。

A.3 環境条件

(DIN EN 61010-1に準拠しています)

本装置の使用環境は以下の通りです：

- 室内使用；
- 海拔2,000 m (6,500 ft) の高度まで耐用。
- 周辺温度5～40 度C(41～104 度F*) まで耐用。
- 気温31 °C (87.8 °F) で、最大相対湿度が80%まで耐用。それに反比例して、気温が40 °C (104 °F) で、耐用相対湿度は50%にまで減少*。
- 電流変動値が公称値の10%以内の電源を使用。
- 過電圧分類II未満で使用。
- 汚染レベル2未満で使用。

*) 5～30 °C (41～86 °F) の気温では、相対湿度が80%まで使用することができます。31～40 °C (87.8～104 °F) の気温では、それに反比例して耐用相対湿度は減少します (例えば、気温が35 °C [95 °F] の場合、耐用相対湿度は65%で、40 °C [104 °F] だと、50%の耐用相対湿度となります)。気温が40 °C [104 °F] を越す場合、本装置を使用しないで下さい。

B. 安全対策

- ▶ 本装置を取扱説明書に従って運転しなければ、安全を保証することはできません。
- ▶ 本装置は、各国指定のプラグを備えた電源ケーブルでのみ運転可能です。必要とされるいかなる改造も、電気技師によってのみ可能です。
- ▶ 銘板に記載されている電圧データが各地域の電圧データと一致していなければ、本装置を運転することができません。
- ▶ 本装置の電源プラグをアース付きコンセントにのみ差し込んでください。
- ▶ 本装置の近くに電源コンセントがなければなりません。
- ▶ 電気配線（主電源ケーブルなど）の点検、ホースおよび外枠（曲がり、亀裂、穴あきによる水漏れなど）の定期的点検、または経年劣化を点検してください。電気配線、ホースまたは外枠部品に何らかの支障や他の欠陥が見つければ、本機を決して使用しないで下さい！電源プラグを抜いた後、本機の電源を入れ直さないで下さい！
- ▶ 接続ケーブルやホース（電源ケーブルなど）に損傷（ねじれ、裂け目、穴など）がないか、または劣化していないかどうかを定期的に点検してください。傷んだケーブルやホースまたは他の欠陥が見つければ、本装置を運転しないでください。
- ▶ 本装置を常に監視の下で運転しなければなりません。
- ▶ 損傷の危険性！：
不認可の構成部品を使用している場合。必ず、レンフェルト社の純正部品を使ってください。
- ▶ 本装置を運転する場合、以下の安全注意事項に加えて、それに関連するあらゆる事故回避規制を順守して下さい。
- ▶ 長い髪を垂らしたままや袖口がゆったりした、幅広の衣類を着用して、本装置を運転しないで下さい。髪や衣類が研削ディスク（砥石）に巻き込まれる危険性があり、けがの原因となります！
- ▶ モーターが回転している間、決して前扉を開けないで下さい。安全のためにモーターを切っても、研削ディスク（砥石）は、すぐに停止しません。
- ▶ 研削ディスク（砥石）が完全に停止するまで、前扉を開けてはなりません。
- ▶ 研削中、必ず、防護眼鏡を着用して下さい。
- ▶ 研削ディスク（砥石）が回転中、手を入れないで下さい。
- ▶ 模型台（研削台）を取り付けて、固定する際、「カチッ」という音がするまで作業を行わないでください。小さな部品や指がトリマーに巻き込まれて、大けがを負う危険性があります。
- ▶ 研削ディスクが停止した状態でのみ、研削台を上げてください。

C. 運転認可者

訓練を受けた職員によってのみ、本装置を運転することができます。

D. 設置準備



設置前に、銘板に記載されている電圧データと各地域の電圧データとが一致していることを確かめてください。



本装置の電源プラグをアース付きの電源コンセントにのみ、差し込んでください。
本機をFIブレーカーの安全ソケットに接続することをお勧めします！



研削水を排出する場合、分離システムを設置してください。

E. 修理

修理は、有資格者によってのみ、行われなければなりません。

この取扱説明書に指定されていない電気器具の修理は、電気技師によってのみ行われなければなりません。



修理を行う前に、本装置の電源を切って、電源プラグを抜いてから、電機部品の修理を行ってください。

F. 廃棄方法

本装置は、専門業者によって廃棄されねばなりません。本装置に有害物質が残存していることを専門業者に知らせなければなりません。

F.1 EU諸国における廃棄基準

環境の保全および保護、環境汚染の防止、素材のリサイクル推進のために、欧州委員会は、メーカーに対して電気電子機器の回収指令を出して、適切に廃棄またはリサイクルするように促しました。



それ故に、EU連合内では、このシンボルの付いている機器を家庭ゴミとして廃棄してはなりません。

正しい廃棄方法については、お住まいの自治体にお問い合わせ下さい。

G. テクニカル・データ

	MT3	MT3 pro
電圧	220-240 V, 50/60 Hz	230 V, 50 Hz
	100-120 V, 50/60 Hz	120 V, 60 Hz
消費電力	1.300 W / 1,74 hp (220-240 V)	1.650 W / 2,21 hp (230 V)
	1.325 W / 1,78 hp (120 V)	1.500 W / 2,01 hp (120 V)
回転速度	2.880 1/min. (50 Hz)	
	3.450 1/min. (60 Hz)	
最大消費水量	7 l/min.	
必要水圧	最低 1バール / 最大 5バール	
排水ホース用接続管の直径	36 mm	
寸法 (WxHxD)	305 x 330 x 410 mm	
	12,0 x 13,0 x 16,1 inch	
トリマー・ディスク径	Ø 234 mm	
	Ø 9,2 inch	
重量 (トリマー・ディスク非装着時)	13,2 kg	14,5 kg
LpA *)	74 dB(A)	

*) EN ISO 11202に基づく音圧レベル
モーター音のみの測定値。研削物や運転方法によって、研削時の騒音が大きくなる場合があります。

H. 免責

レンフェルト社は、以下の損害賠償または保証に関して、いかなる請求にも応じません。

- ▶ 取扱説明書に記載されている目的以外に本製品を使用した場合。
- ▶ 取扱説明書に記されている以外の方法で、本製品に変更を加えた場合。
- ▶ 専門業者以外またはレンフェルト社以外の部品を使って、本製品を修理した場合。
- ▶ 安全上、明らかに欠陥があるにもかかわらず、本製品を使い続けた場合。
- ▶ 本製品に機械的衝撃を与えた場合、または、本製品を落とした場合。

I. 保証

本製品を取扱説明書に従って正しく使用している場合、レンフェルト社は、MT / MT3プロの全部品を3年間保証いたします。

保証に対するいかなる請求も、販売業者が納入時に発行した納品書がなければなりません。

自然摩耗しやすい部品や消耗品（研削ディスク）などは、この保証の対象外です。

不適切な使用および運転、清掃、メンテナンスまたは接続規定に従わない場合、自分で修理または無資格者が修理した場合、他のメーカーの部品を使用した場合または、ご利用の手引きに従わないで、異常動作もしくは影響が生じた場合、本保証は無効となります。

保証修理に伴う保証期間の延長はありません。